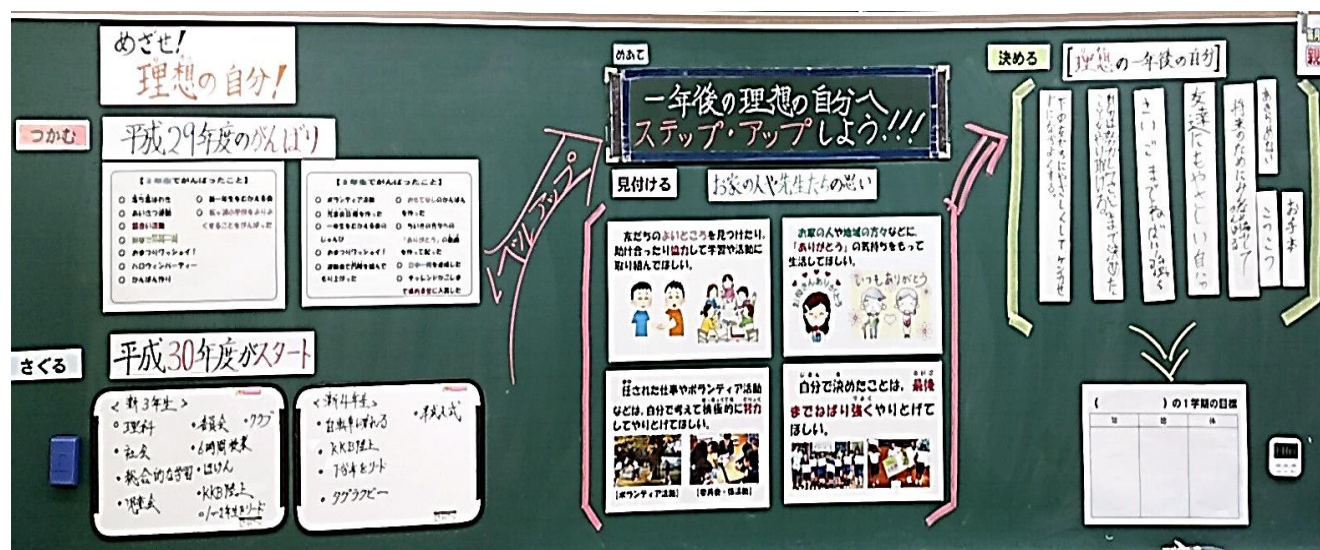


## ～題材：めざせ！理想の自分！～

【ねらい】

教師や保護者の思いや願いを聞くことで、学級や学校生活に希望や目標をもち、自分なりのめあてをもって学校生活をおくることができるようにする。



【写真①：板書】

【学習過程（略案）】

4月23日（月）5校時

| 過程   | 主な学習活動                                                                                                                                            | 指導上の留意点                                                                                                |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| つかむ  | 1 昨年までの自分たちの成長について話し合う。<br>〔・ボランティア活動ががんばったよ。 など〕                                                                                                 | ○ 事前のアンケート調査を基にこれまでの頑張りや成長が想起できるようにする。                                                                 |
| さぐる  | 2 新学年での一年間の生活について話し合う。<br>〔・3年生は、委員会やクラブ活動が始まるね。〕<br>〔・4年生では、半成人式があるね。〕<br>〔・ウミガメガイドもがんばろうね。〕                                                     | ○ 課題を取り上げるのではなく、昨年度よりもよりよい自分に成長していく気風を高められるように発問する。                                                    |
| 見つける | 3 教師や保護者のアンケート結果を基に、自分が目指す姿について話し合う。<br>(1) 教師や保護者の思いや願いを聞く。<br>(2) 自分が考える理想の一年後の自分を短冊に書く。<br>(3) 自分の考えを発表する。<br>(4) 友だちの考えのよさを見ついたり、アドバイスをしたりする。 | ○ キャリア教育に関わるアンケートを事前に集計し、教師と保護者の同意見を提示する。<br>○ 長めの短冊カードを準備しておく。<br>○ 自他の考えを認めることができた子どもを称賛し価値付けるようにする。 |
| 決める  | 4 理想の自分に近づくための一年後のめあてを意思決定する。<br>(1) 一年間のめあてを考え、短冊に書く。<br>(2) 一学期のめあてを考え、用紙に書く。                                                                   | ○ 実現可能なめあてになるように、適宜指導する。<br>○ 一学期のめあては、具体的に設定できるように指導する。                                               |

## 指導のワンポイント

### ☆ 理想の自分像をより明確にイメージするための工夫

#### ○ 事前の工夫

- ・ 保護者アンケートの実施（写真②）  
\* 千葉市キャリア教育モデルプラン（小学校版）参照
- ・ 昨年度の頑張りを振り返られる子どもアンケートの実施

今年一年間で、お子様にどのようなことをがんばってほしいと思いますか。また、どのように成長してもらいたいですか。当てはまるものすべての番号を○で囲んでください。

- 1 自分の意見や気持ちをわかりやすく表現できるようになってほしい。
- 2 友達の気持ちを考え、理解することができるようになってほしい。
- 3 友達と協力して、学習や学習に取り組むことができるようになってほしい。
- 4 友達のよいところを見つけ、励まし合ったり、助け合ったりするようになってほしい。
- 5 外国の人々の生活に関心をもってほしい。
- 6 自分のよさに気付いてほしい。

【写真②：保護者アンケート（一部）】



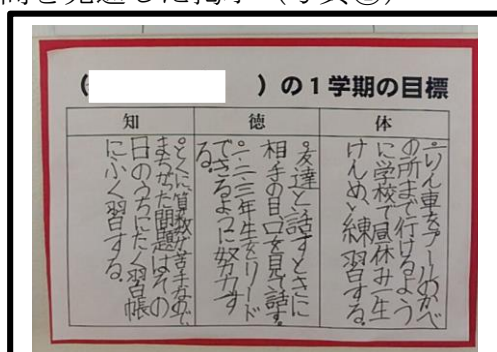
【写真③：教師・保護者の思いや願い】

#### ○ 本時の工夫

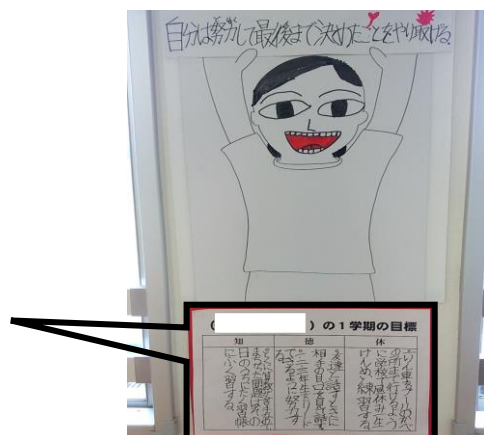
- ・ 教師・保護者の思いや願いをより短い言葉とイラスト・写真で掲示（写真③）

#### ○ 事後の工夫

- ・ 一年間を見通した掲示（写真④）



【写真①：1学期の個人目標】



【写真④：一年間の成長を見通した掲示物】

## 成果

- 事前アンケートと異なる一年後の自分像を書いている子が多かったことから、教師や保護者の思いや願いを伝えることは効果があったといえる。

#### 【子どもの目標】

「さいごまでねばりつよく」「下の友だちにやさしくしてケンカせずになかよくする」  
 「将来のために、みんなと協力してがんばる！」  
 「友だちにもやさしい自分」「自分は努力して最後まで決めたことをやりとげる」

## アドバイス

- 一年後の自分の目標（抽象的な表現で年間通して取り組むことができるように）を考えることが難しかった。  
→①中学年の発達段階では、教師が提示したいくつかの目標の中から選択する。  
②文章が長くならないように、「○○○○な自分」と型を決めておく。  
③一学期の個人目標を立ててから、一年間の目標を立てる。